

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年2月3日(2022.2.3)

【公開番号】特開2020-130392(P2020-130392A)
 【公開日】令和2年8月31日(2020.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報2020-035
 【出願番号】特願2019-25075(P2019-25075)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年1月26日(2022.1.26)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0001
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0001】

20

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

遊技者に対して発射方向を指示する発射方向指示表示を表示する場合に、遊技者に誤解されると遊技の公平性を害するおそれがある。本発明の目的は、遊技者に分りやすい発射方向指示表示を行うことである。

30

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、遊技球が流下可能な遊技領域を備えた遊技機において、遊技を制御する遊技制御手段と、遊技に関する情報を表示可能な表示手段と、

40

前記表示手段を表示制御する演出制御手段と、を備え、

前記遊技領域は、一側の遊技領域と他側の遊技領域とを備え、遊技者が遊技球の発射勢を調整することで前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を流下させるかを選択可能に構成され、

前記遊技制御手段は、複数の遊技状態のうちから一の遊技状態を設定可能であり、所定の移行条件が成立することに基づき遊技状態を移行するように構成され、

前記複数の遊技状態の各々は、前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を発射して遊技を進行するかが予め定められており、

前記演出制御手段は、

50

設定された前記遊技状態に応じて遊技球の発射方向を指示する発射方向指示表示を前記表示手段に表示可能であって、
前記発射方向指示表示において一定の周期で変化させる周期表示を実行可能であり、
前記発射方向指示表示を複数表示可能であることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

10

本発明によれば、遊技者に分かりやすい発射方向指示表示を行うことができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域を備えた遊技機において、
遊技を制御する遊技制御手段と、

20

遊技に関する情報を表示可能な表示手段と、

前記表示手段を表示制御する演出制御手段と、を備え、

前記遊技領域は、一側の遊技領域と他側の遊技領域とを備え、遊技者が遊技球の発射勢を調整することで前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を流下させるかを選択可能に構成され、

前記遊技制御手段は、複数の遊技状態のうちから一の遊技状態を設定可能であり、所定の移行条件が成立することに基づき遊技状態を移行するように構成され、

前記複数の遊技状態の各々は、前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を発射して遊技を進行するかが予め定められており、

前記演出制御手段は、

30

設定された前記遊技状態に応じて遊技球の発射方向を指示する発射方向指示表示を前記表示手段に表示可能であって、

前記発射方向指示表示において一定の周期で変化させる周期表示を実行可能であり、

前記発射方向指示表示を複数表示可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示手段とは異なる所定の表示手段を備え、

前記演出制御手段は、前記所定の表示手段に前記発射方向指示表示を表示可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

40

50